学校番号	315

令和８年度　地理歴史科

教　科	地理歴史	科 目	（学）地理演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地理探究（山川出版社）　／　高等地図帳（山川出版社） ※ 双方とも科目「地理探究」で使用しているもの						
副教材等	地理統計要覧 2026 年版・vol.66（二宮書店） ／　Winning COM.-PASS　地理の整理と演習　2026 年度用（とうほう） ※ 上記双方とも科目「地理探究」で使用しているもの						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「地理探究」の学習内容をより深化する授業である。
・世界のさまざまな国や地域について分割して学習する。特に、文化や生活、言語、宗教に着目し、農業、工業、商業などの特徴や、日本や世界との関係についても考察し、地誌的な内容を総合的に理解する。
・GIS（地理情報システム）を活用し、地理情報の収集・分析をおこない、地域調査などの基礎的な技術を習得する。

2　学習の到達目標

「地理総合」で幅広く学んだ地理の知識や技能等を用いて、現代世界の諸地域（国や地域）の学習を深化させる。また、地図や地理情報システム（以下：GIS）などを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

・日本を含む世界の生活と文化の地域的な特色について、地図や GIS などを用いて理解し、知識を身に着けている。

・地理的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察し、国際社会の変化に的確に対応でき、地図や GIS などを用いて自らの意見を論理的に述べ、まとめる技能を身につけるようにする。

・地理的事象について高い関心を持ち、現代的な諸課題に対して課題意識を有しており、国家および社会の形成に積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地名や地形名、地理的語句を覚える。その際、関連事項とリンクさせつつ理解し身につける。 地誌的手法で各地域の特徴とそこに居住する人間の生活文化を知るための技量、表現力を身につける。	世界各国および地域の現状と諸課題を地理的観点から論理的に考え、考察し、それら課題を解決するためにはどうすればよいかを論理的に考え、表現する。 地図や GIS を活用し、多面的な視点で地理的に活用することができる。	世界各国および地域のよりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	世界の地誌	地図とGISの活用 ・球面上の世界 ・日本の位置と領域 ・地図とGISの暮らしでの活用	a:緯度、経度の仕組みと、地球上での位置の示し方を理解している。 b：資料を根拠として示しながら、課題解決のための方策を多面的・多角的に考察している。 c:身近な地図を集め、それらの地図の特徴を捉えて地図情報の有用性について主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート グループワーク（もしくはペアワーク）での作業と発表	レポート グループワーク（もしくはペアワーク）での作業と発表 授業での取り組みや発言などの学習状況
		現代世界の諸地域 ・日本 ・東アジア ・東南アジア ・中央アジア ・西アジア	a：いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 b：現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c：現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究している。			

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期		現代世界の諸地域 ・アフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ	a：いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 b：現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c：現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート グループワーク（もしくはペアワーク）での作業と発表	レポート グループワーク（もしくはペアワーク）での作業と発表 授業での取り組みや発言などの学習状況
3学期		現代世界の諸地域 ・オセアニア ・極地方 諸地域間の比較	a：いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 b：現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c：現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究している。	授業中内での確認（小）テスト	ワークシート	授業での取り組みや発言などの学習状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度